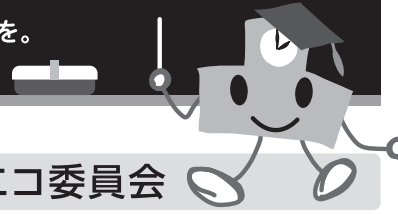


小学校の事例 清田区 清田緑小学校

エコに関する活動を行うエコ委員会を発足。自主性の高い活動で、エコ意識も向上!

エコ活動が高まるにつれ、発足したエコ委員会。通年制で活動し、積極的な取組を行っている。プライドをもった自主的活動で、校内でも人気。現存の活動を維持・発展し、さらに広がる環境活動を。



はじめに エコ活動の高まりに応じて発足したエコ委員会

本校のエコ委員会は、札幌市の環境都市宣言等により環境教育を取り入れることになったこと、世間で様々なエコ活動の重要性が叫ばれるようになったことなどから、発足に至った。昨年度設置されたばかりの委員会で、今まさに軌道に乗り始めたところだ。



玄関でのエコ委員の活動

内容 通年制の活動で より大きな達成感を

エコ委員会は、5～6年生で構成され、テーマを「エコに関する活動」として活動している。委員会活動は通常、前後期制をとっているが、本委員会は発足当時から通年での活動とし、半期で三役が交代をする。年間をとおして、下記の活動を行っている。

年に数回は、地域の方が持参してくれることもあり、リングプルは現在(平成23年3月)450kgまで順調に貯まっている。550kgで一般タイプの車いす1台と交換ができるので、自分たちの力で実現できるよう、頑張っている。ごみのポイ捨て防止や節電・節水を呼びかけるビデオを子供たちが中心となって制作した。

- 1 校内へ節電・節水含めエコに関する呼びかけ
- 2 各種ポスター作成
- 3 エコ新聞の作成
- 4 リングプル回収(車いすとの交換のため)
- 5 ペットボトルキャップ集め (ワクチン薬との交換のため)
- 6 各種回収活動の宣伝(プリント配布)
- 7 エコ活動啓発ビデオ作成

リングプル回収については、地域に特別な発信をしなくても、子どもをとおしてクチコミで広がっている。



「エコと地球」のポスター

効果 高いアピール力で大人気の委員会

子供たちは、世の中や身のまわりの人の役に立っているという自覚をもち、自分たちで納得して取組んでいる。活動のアイデアが子供たちからどんどん出てくるなど、非常に積極的に取組み続けている。

特に各種回収ボックスやポスターなどの設置・掲示場所は大人の目から見ても、アピール力が高い。たとえばリングプルの回収ボックスは児童玄関にひとつだが、とても大きいものを作り、自分たちで作ったキャラクターを厚紙に描き、プラカードのように立て、登下校時に必ず目に入るよう、目立たせている。エコ新聞も玄関の明るいところにとっても大きいものを掲示している。また各種ポスターは、水飲み場などの他、少し広く開いたトイレの窓の下部分に、廊下側に向けて貼ってあり、ちょうど目隠しのような役割も兼ねる工夫がなされている。

今年度の委員を決める際はとても人気があり、この委員会の子供たちがいる高学年が底上げをする感じで、学校全体のエコに対する意識が高まってきているのが感じられる。エコライフレポートの結果も明らかになってきており、本校の「環境教育」の土台になってきているともいえる。




ペットボトルのキャップを集めるポスター

課題・発展 更なる広がり求めて 2歩めを踏み出そう

次年度から総合的な学習の時間が70時間と減る。本校では現在総合的な学習の時間のカリキュラムを見直しているところであるが、環境問題を軸にしたいと考えている。目標と課題を子供たち自身が理解し、自分たちで発信していくことができるという点は、現在の活動を継続していくうえでも、新しい活動を始めるにあたって、大切にしたい視点である。現時点で子供たちは最初の1歩を踏み出しているので、維持・発展をさせたいと思っている。現在の活動を継続していくことで環境活動が広がり、社会科など教科の学習と関連させながら環境活動が更に広がっていくのが理想と考えている。

小学校での環境教育のポイントとして、「地域に密着したもの」「身近なもの」「数字などで結果や成果が見えるもの」の3つが挙げられると考えています。活動をいち早く軌道にのせ、児童の自発性を最大限に活かすには、取組の初年度の土台作りをしっかりと行うことが大切です。本校では委員会活動を通年制にすることで、達成感が得られ、児童にプライドと責任感が生まれました。また、目的をはっきりさせることで、社会の中で役立っている自覚を得られます。「継続は力なり」ということ、結果が出ることを実感することで、子供たちは力を発揮し、大人の手本にもなります。子供たちが将来生きていく環境を整備するために、社会的にも環境教育は必要なこと。子供たちが必要なものを取捨選択し、真剣に取組めることが何よりも大事だと考えています。

広げよう
つなげよう
環境学習の輪



実施校から
メッセージ

また、学校の活動を地域にアピールすることは難しいことではありません。たとえばリングプルやペットボトルキャップの回収ボックスなどを玄関に置いておくだけでも、十分な地域公開に値するのです。